

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

平成19年度病害虫発生予察注意報のについて（送付）
このことについて、第4号を発表しましたので、送付します。

注 意 報

平成19年度病害虫発生予察注意報第4号

平成19年9月10日
熊 本 県

農作物名 イチゴ

病害虫名 ハダニ類

- 1 発生地域 県内全域（イチゴ栽培地域）
- 2 発生程度 平年比 多
- 3 注意報発令の根拠
 - （1）8月中下旬に実施した巡回調査では、育苗ほの発生ほ場率は100.0%（平年20.8%）で平年よりも高く、寄生葉率も39.0%（平年2.8%）で平年より高かった。また、本ほでの発生が多かった前年の同時期と比較し、発生ほ場率・寄生葉率ともに高かった（前年の発生ほ場率33.3%、寄生葉率7.3%）。（図1・2参照）
 - （2）気象予報によると、9月～11月の気温は平年並か高いと予想されており、ハダニ類の増殖に好適である。
 - （3）寄生苗を本ほに定植すると、本ほで多発する恐れがある。
- 4 防除方法
 - （1）本ほへの持ち込みを避けるために、育苗後期には防除を徹底する。
 - （2）ハダニ類は下葉の裏に多く寄生しているため、薬剤防除の際は、薬剤が葉裏に十分かかるように不要な下葉を除去した後、丁寧に散布する。
 - （3）寄生葉や葉かぎ後の葉は、ハウス外に持ち出し、ビニール袋等に入れ密閉処分する。
 - （4）ハダニ類は薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統薬剤の連用は避け、系統の異なる薬剤をローテーション散布する。
 - （5）農薬は、ラベルなどで使用方法を確認し、収穫前使用日数や使用回数、希釈倍数等を遵守して農薬の安全使用に努める。

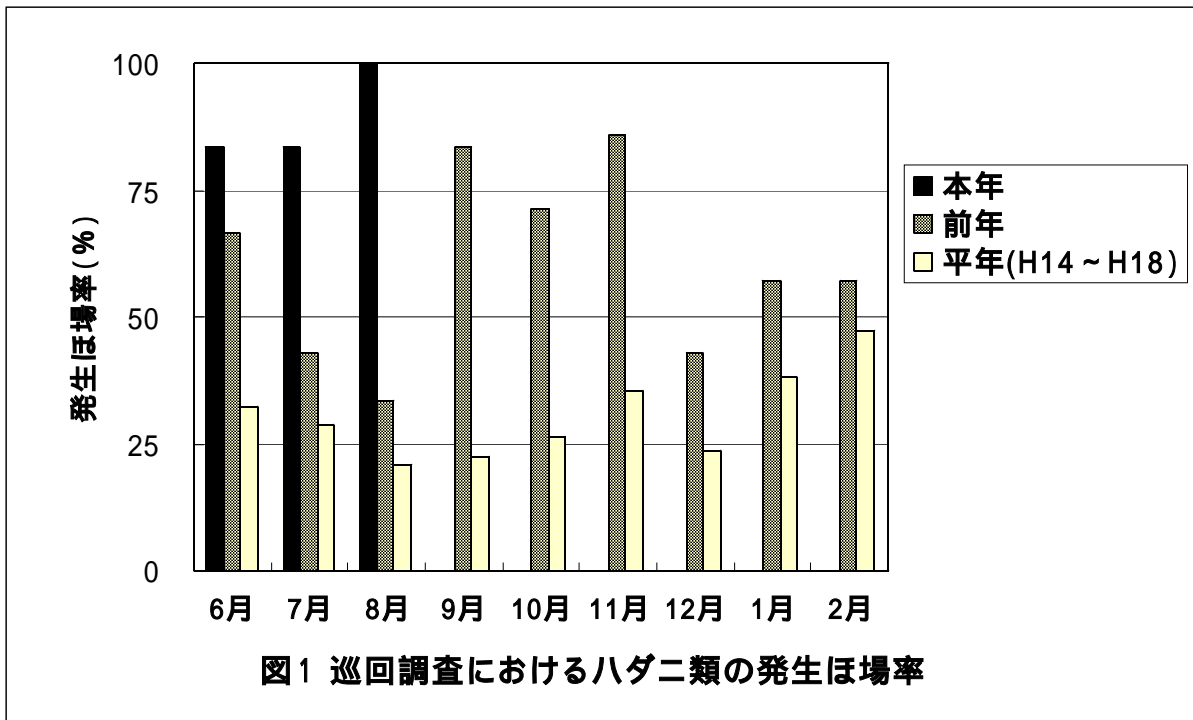


図1 巡回調査におけるハダニ類の発生ほ場率

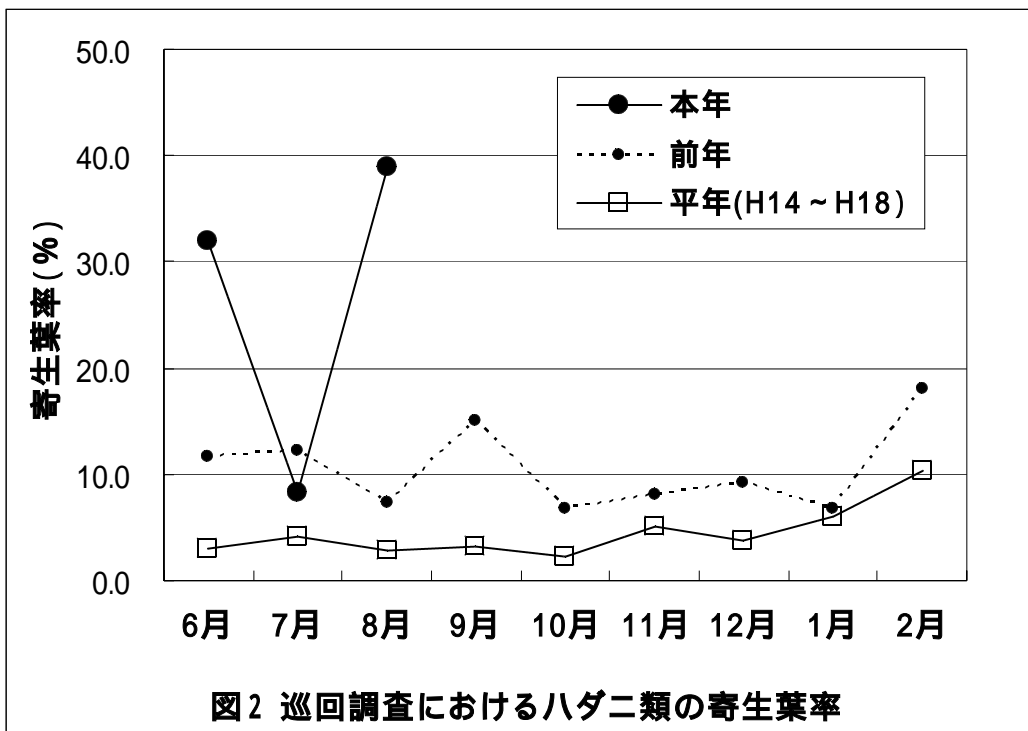


図2 巡回調査におけるハダニ類の寄生葉率

今後のハダニ類の発生状況については、病害虫防除所のホームページ (<http://www.jp.pn.ne.jp/kumamoto>) をご参考ください。

お問い合わせ先
 熊本県農業研究センター
 生産環境研究所病害虫研究室
 予察指導係(病害虫防除所)
 担当：東、福永
 TEL：096-248-6490

